KUMAMOTO

みつかる。つながる。よくなっていく。

YMCANEWS



No.592 2022



(毎月1日発行) 1984年8月15日第3種郵便物認可 発行所/(公財)熊本YMCA 〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1 Tel 096-353-6397代)



熊本YMCA常議員 インターナショナル委員会委員長 ジェーンズワイズメンズクラブ会員 YMCA英会話と世界のことばフランス語教室在籍 前田 香代子 さん

たくさんの講師との出会い

「フランスを旅行した時に、食べ物や飲み物のメニューを読めるようになりたくて。ワインの銘柄もね」と微笑むのはフランス語教室の在籍生であり、長年、YMCAのボランティア会員として活躍している前田香代子さん。YMCAとの出会いは中学生時代にさかのぼります。「地元は横手町。高校受験の時に新町にあったYMCAの学習教室を受講しました。その後、高校時代に英会話教室に通って、生まれて初めてネイティブの先生に教わった時のことは、今でも鮮明に覚えています」。短大進学、就職、結婚としばらくYMCAとは離れていたものの「下の子どもが保育園に入った頃に、何か始めたいなと思って。知人から『好きなことしか続かないよ』と言われた時に思い浮かんだのがYMCAの英会話でした」と再びYMCAを訪れます。

以降、前田さんは約30年にわたり、語学を学び続けています。「YMCAではこれまで様々な国出身の講師に出会えました。例えば、ある講師は私たちより日本史に詳しくて、『もっと歴史を勉強しておけばよかった!』と思うことも。語学のスキルだけじゃなく、自分の知識や教養があってこそ、学んだ言葉が活かせるのだと教えてくれたのがYMCAですね」。

ボランティア活動に誘われて

1999年、前田さんは英会話教室のクラスメイトから、「YMCAの運営委員にならないか」と誘われます。運営委員とは、YMCAの地域活動などを支えるボランティア会員のこと。月に1度の会議に参加して意見を交わしたり、YMCAの行事に参画したり。「断れなくて」と引き受けた前田さんは、先輩たちのバイタリティあふれる姿に、はじめは「なんでそこまでできるんだろう」と思ったといいます。そんな前田さんも運営委員会の委員長やボランティア会員の代表である常議員も務め、今では周囲から同じ事を言われるように。「知人に『今日はYMCAの会議なの』というと『なんでそこまでするの?』って。でも、私にとっては、普通の生活の中の一つになっているんです」。YMCAを支えている、というような特別な意識はないといいます。

ボランティア活動では、海外の人と接することも。「よく、異文化理解っていうけれど、お互いのことを100%理解することはできないですよね。でも相手の思いを理解しようとするのがコミュニケーション。語学とは、それを、日本語で話すか、英語で話すか、フランス語で話すか、ということなのかな、って思うようになりました」。

今こそ、YMCAで楽しい時間を

前田さんは、YMCAでのボランティア活動のほか、その英語力を活かし、NPO法人ワールドキャンパスインターナショナルが行う「ワールドキャンパス」にも携わっています。ワールドキャンパスとは、世界各国から集まった若者たちが日本国内を巡る多文化共生事業。熊本YMCAでは専門学校の学生との交流を企画するなどの協力をしています。「最初は認知度が高くなくて、公共機関や大学に協力をお願いするのも大変でした。でも『YMCAが協力している』と伝えると、『それなら私たちも協力します』と言ってもらえることが多くて、助かりました」。だからこそ、と前田さんは続けます。「『YMCAはちゃんとしていなきゃ』って思うんです。スポーツスクールや英語教室をしているけれど、YMCAには、"ただの習い事教室"にはない価値がある。そう思ってくださっている皆さんに信頼し続けてもらえる組織でありたいですね」。

現在は、週1回のフランス語のレッスンを受講。ボランティア活動も含め、週に何回もYMCAに足を運ぶことも。「YMCAが好きなんですよね。『気づいたらいつもそばにYMCAがあった』という感じかな」と笑います。「コロナ禍でストレスを抱えている人も多いと思います。だからこそ、楽しい時間を過ごしたいですよね。私のようにYMCAで勉強する人もいれば、ウエルネスに通ったり、会員

同士でおしゃべりしたり。人間には回復力があるから、YMCAがそれをお手伝いできる場所になれたらいい。『YMCAにおいでよ、楽しいよ、いろんな経験ができるよ』って皆さんに伝えたいです。だから、私がその見本になれるように頑張らないとね」。前田さんのYMCA活動はまだまだ続きそうです。



Pickup

「上手にできたね」 放課後等デイサービス こどもの日制作





「お芋の苗を植えたよ!」 尾ヶ石保育園

「親子遠足楽しかったね」 ぶどうの木幼児園







nformation

行至う 見よう 深めよう

ポジティブネットのある社会をつくる維持会員入会のご案内 111617



維持会員とは熊本YMCAの活動趣旨に賛同して、会費によって活動を支えてくださる方のことです。YMCAの行うチャリティー行事や各種プログラムの企画や運営に、ボランティアとしてご参加いただいています。

熊本YMCAの維持会員になっていただくと

- ・YMCAで行われている様々なボランティア活動に参加することができます。
- ・会員相互の交流と学びを深めるための集いや研修会、スポーツ大会など に参加することができます。
- ・YMCAの活動を通して、様々な人と出会い、地域と世界に貢献することができます。
- ・YMCAの活動を通して、次世代を担う青少年の成長に関わることができます。
- ・YMCAの活動に対して、助言することができます。

会費種別(年度会費: 当年4月~翌年3月)

維持会費A 6,000円/維持会費B 12,000円/維持会費C 18,000円/維持会費D 24,000円/維持会費E 30,000円以上/維持会費F(学生ボランティア及び18歳未満) 3,000円

- ※金額による会員としての区別はありません。
- ※維持会費は税額控除の対象になります。

込会方法 Webサイトで詳細を確認の上、お申込みください。

圆熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397



英会話と世界のことば 体験レッスン

4 5 10 16



英会話、シニア英会話、TOEIC講座のほか、中国語、韓国語、ドイツ語、スペイン語、フランス語の各国語にもふれることができる「YMCA英会話と世界のことば」。無料体験レッスンを受付中です。





6月 $\overline{25}$ 日 Saturday

町をきれいに ¹¹¹⁵ ながみねロードクリーンボランティア



ながみねファミリーセンターを拠点に、清掃ボランティアを開催します。朝から一緒にさわやかな汗を流しませんか?

回6月25日(土)8:00~8:45 圏 ながみねファミリーセンター (東区長嶺南)集合 圏軍手または作業用手袋 圏Tel 096-353-6391(音声ガイダンス3)

※雨天の際は中止の可能性があります。



不登校児・生徒支援プログラム ぷらっとほーむ **3 11 16**



新型コロナ感染症の影響により、不登校児・生徒が増加していると言われます。熊本YMCAで活動する学生ボランティア、ユースボランティアリーダー会が、子どもたちの居場所づくりを目指して企画・運営する「ぷらっと



ほーむ」の参加者、リーダーを募集します。活動は皆様の支援により運営されています。ご支援をお待ちしています。(3面に関連記事)

参加者募集

団学校に行きにくさを感じている小学生から高校生

團熊本YMCA本館(熊本市中央区段山本町4-1)他 YMCA施設等

回毎週金曜日 18:00~21:00(6月スタート)

デイキャンプ・宿泊キャンプ/7月10日(日)、8月8日(月)~12日(金)、11月20日(日)、1月5日(木)~9日(月)、3月25日(土)~26日(日) ※日時は変更になる場合があります。

週1年間/5,000円 スポット1日/800円 ※保険代を含みます。

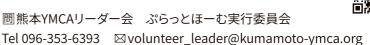
リーダー募集

子どもたちといっしょに活動してくれるリーダーを随時募集しています。 以下のQRコードよりご登録ください。登録されたメールアドレスにご連絡いたします。

協賛のお願い

寄附金協力、物品協力による協賛を募集しています。

リーダー登録と協賛方法の詳細はWebで▶



免疫力を高め、心もからだも元気になろう 2022夏休み こどもプログラム

この夏も子どもたちのキャンプと夏休み限定のスポーツスクールを 開催します。YMCAで身体を動かして、夏を元気に過ごしましょう。

サマーキャンプ

図●5日間デイキャンプ●夏のガールズキャンプ●富士登山キャンプ●はじめて体験キャンプ●フィッシング海遊びキャンプ●昆虫大作戦キャンプ●種子島宇宙キャンプ●3日間えいごデイキャンプ



スポーツスクール

圏 みなみセンター(南区田迎)、ながみねファミリーセンター(東区長嶺南) 因 ●水泳教室 ●体操教室 ●ZUMBA kids(みな

みセンターのみ) ●水泳特別プライベートレッスン(みなみセンターのみ)



子ども 不登校児・生徒のために ぷらっとほーむの活動がスタート

3 11 16

不登校児・生徒の居場所をつくろうと、2021年度にユースリーダーたちが企画、実行した「ぷらっとほーむ」の2022年度活動がはじまりました。5月3日(火)~5日(木)の3日間、『知る』をテーマに、YMCA本館で活動。昨年度から継続した子どもたちが参加し、朝から元気な声が飛び交いました。

午前中はお勉強の時間。リーダーが"楽しみながら学べるように"と考えた様々な授業の中から、自分のやりたいものを選択します。そして午後は、川で生き物を探したり、鬼ごっこをしたりと、子どもた

ちとリーダーが思いっきり遊びました。ぷらっとほーむでは子どもたちの「やりたい!」を大切にしています。活動の最後に、次回やりたいことを話し合い、一緒に活動内容を決めています。保護者からは「翌日の活動が楽しみで、寝る前までその話をしていました」との声が聞かれました。

この活動を通して、子どもたちの様々な表情や感情を見ることができました。子どもたちにとって、 "心の居場所"となるように目指していきます。

ユースリーダー 藤澤凜



▼ ☆ 心と身体の成長を 水泳クラブ・チーム合同練習会

3 11

5月3日(火)・5日(木)に、みなみセンター・ながみねファミリーセンター・むさしセンターの水泳チーム・クラブ生がながみねファミリーセンターのプールで一堂に会する合同練習会を開催。25名の子どもたちが1日で最大5500mほどを泳ぎ、水泳大会に向けて4泳法のフォーム、飛び込み、ターンの矯正や下半身の強化、体力向上、スピード強化に取り組みました。

普段一緒に練習することができない子どもたち が顔を合わせ、お互いに切磋琢磨しながら練習に励 みました。参加者からは「いつもと違う場所で練習ができて楽しかった」、「合同練習で良い刺激になって新しい目標ができた」という声が聞かれました。

子どもたちは、これから始まる本格的な水泳大会シーズンに向けた準備ができたようです。全国大会や九州大会につながる大切な大会を控え、その士気を高めることもできました。全国YMCA水泳大会も8月に千葉県で実施予定です。子どもたちの活躍を応援してください。

職員 兼瀬稔宜



チとも 未就園児対象プログラム 幼稚園の先生とあそぼう!

3 4 11

水前寺幼稚園と熊本五福幼稚園では、地域に開かれた幼稚園を目指して毎年、「子育て広場わいわい」と題した未就園児対象プログラムに取り組んでいます。5月17日(火)、熊本五福幼稚園で「幼稚園ってどんなところ?先生とあそぼう!」をテーマに今年度第1回目を開催。2歳児を中心とした6組の親子の皆さんと楽しい時間を過ごしました。

最初に体操で身体を動かした後は、お楽しみのパネルシアター。たくさんの動物たちが布団の中から登場し、クイズ形式で進む物語にキラキラとした

眼差しで見入っていた子どもたち。動物の名前を当てたり、「おはよう」と挨拶するなど、元気な声を聞かせてくれました。その後はティッシュを使った親子でのゲーム遊びや砂場遊びもあり、盛りだくさんの内容でした。

参加した保護者からは「たくさん身体を動かせてよかった」「親子で遊べる場所があるのは嬉しい」との声が聞かれました。次回の詳細、申込みは、6月初旬に園のWebサイトで案内予定です。

職員 松藤直美





すべてには時がある

NHKこころの時代別冊に、「宗教・人生」というテーマの本があります。この本は、旧約聖書「コヘレトの言葉」をめぐる、若松英輔さんと、小友聡さんの対話から構成されています。タイトルは、「すべてには時がある」です。本の表紙には、見えない明日を生きるとき、予期せぬ「言葉」があなたを支えるというメッセージが掲げ

られています。

現在、私たちは危機の時代に生きています。 しかし、旧約聖書の過去の時代にも絶望する ほかない日々が、世界を飲み込んだ時期があ りました。旧約聖書の時代に生きた人々は、「そ れでも生きる」ことを強く促しています。

私たちは、今、何かを恐れながら生きているようにも感じています。暴力、非難、差別、病気、戦争、その他の恐怖にさいなまれているのかもしれません。しかし、私たちは、「神を畏れて人を恐れず」という気持ちを呼び覚ますことで、「それでも生きる」ことを、自ら強く促すことができるのかもしれません。

私は、夕陽を見ることが好きで、たまにですが、天草の西海岸まで足を延ばすことがありま

す。同じ夕陽は二度となく、いつも美しいことに 気が付いたからですが、むしろ、自然や命を創 造されたものへの畏怖を呼び覚ますためなの かもしれないと考えています。

私たちが直面する困難や、心配事は尽きない事実かもしれませんが、すべてには時があると感じています。私たちが与えられた賜物を最大限に用いて、平和をつくる働きを、YMCAのすべての活動を通して、実現できることを、祈りから始めて祈りで終わる毎日で実践します。

私たちが、これからもそっと寄り添える存在でいるために、私たち自身が、「それでも生きる」という強い意志を促し、ポジティブネットのある豊かな社会づくりを通して、共に生きたいと願っています。

ポジティブネットYMCA国際協力募金 11 16 17

ウクライナ緊急支援募金

第2次募金受付 8月31日まで

支援活動報告(日本YMCA同盟より)

3月初旬、日本で暮らすウクライナ人から母 親を呼び寄せたいとの相談を受け、日本YMCA 同盟では、ヨーロッパYMCA同盟、ウクライナ YMCAと連携を図り、移動や手続きのサポート を行いました。3月18日にようやく日本へ到着 し、母親との再会が叶いました。これを発端に



国内外から避難者受入れ支援に関する相談や依頼が相次ぎ、5月23日まで に50組112名の来日サポートを行っています。

避難者の受入れ支援と同時に、今後は就労や教育など生活を中心とし た長期のサポートが必要です。ウクライナにいる家族の命、これからの生 活、子どもの教育など、大きな不安の中にいる人々が少しでも安心して過ご せるように、また、本国や近隣諸国で避難生活を続ける人々のために支援 を継続しています。

募金ご協力のお願い

4月30日まで取り組んだ第1次募金活動では、熊本YMCA内で557,612円 もの尊い寄附が寄せられました。熊本YMCAは全国のYMCAと協働して募 金活動を継続しています。引き続きご協力をお願いいたします。

募金の使途

現地から日本へ避難するまでのトータルサポートのため

ビザの申請、渡航チケット、来日後の生活のサポート

ウクライナYMCAが行うウクライナ国内での支援のため

宿泊場所提供、食品、衣類、医薬品、衛生製品の提供

ウクライナ近隣諸国のYMCAが行うウクライナ支援のため

ベラルーシ、ポーランド、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、モルドバの **YMCA**

募金方法

●最寄りのYMCAにお持ちください

子たちが集まっていた時、

神が約束された聖霊

に、あ

なたがたは悪

い者でありなが

らも、

、自分

0

さそりを与える父親がいるだろうか。このよう

魚を欲しがる子供に、魚の代わりに蛇を与える

をたたく者には開かれる。あなたがたの中に、

だれでも、

求める者は受け、探す者は見つけ、

ますように初代教会の時代に主イエスの弟

日ですが、この日は使徒

言行録2章に記されて

父親がいるだろうか。

。また、卵を欲しがるのに、

今年のペンテコステ(聖霊降臨日)

は 6月5

●Webサイトからクレジットカード決済が可能です 圆熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397



わ

た

٤

聖

句

「いのち」を守り育む ウォーターセーフティー 3 4 キャンペーン

海や川へ行ったり、水辺 で水遊びをしたりする機 会が多くなる夏。YMCAで は水難事故から大切な生 命を守り、安全で楽しい水 遊びをするために、「ウォー



ターセーフティーキャンペーン」に取り組んでいます。30年以上 にわたり、YMCA水泳教室の子どもたちを対象に「着衣泳体験」 を実施。1995年からは学校、幼稚園など諸団体へ講師を派遣 し水上安全講習会(着衣泳指導)も実施しています。

キャンペーン内容

- ●「ウォーターセーフティーハンドブック」の無償配布(熊本 市内・熊本市近郊の小学1年生対象)
- ●YMCA水泳教室での着衣泳体験
- ●小学校・幼稚園などでの水上安全講習会(着衣泳指導) の実施
- ●大人・保護者対象の心肺蘇生講習会の実施



◀着衣泳体験の

ウォーターセーフティー キャンペーンについて



問みなみセンター Tel 096-353-6391(音声ガイダンス2)

たされて、主イエ 今もペンテコステの礼拝を守っています。その て受け入れ、主を信じてバプテスマを受けまし ました。その時多くの人が 降りました。そのことを記念して、 弟子たち 人 スの罪からの救 一人に聖霊が降り、 、神のことばを聞 いを語りだし 、各教会が 聖霊に満

聖霊降臨 霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、 善意、誠実、柔和、節制です

与えられる。探しなさい。そうすれば、

。門をたたきなさい。そうすれば、

開

かれる。 、見つか わたしは言っておく。

。求めなさい

そうすれば

ガラテヤの信徒への手紙5章22~23節

、親切

日本バプテスト連盟人吉キリスト教会

り求める人に与えられ続けています もキリ スト教会にお の聖霊 は いって、 初代教会に降 、主を信 。「そこで て以来、 、主に祈

その

発行所/(公財)熊本YMCA

〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1 TEL 096-353-6397代)

発行人/光永 尚生 編集人/辻 健太郎 定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp





▲ Facebook

聖霊は私たちに信仰の実を結ばせくださいま

は主に求める人に必ず与えられ、

さる。」(ル

9 / 13

とありますように聖霊

、そして、この

まして天の父は求める者に聖霊を与えてくだ

には良い物を与えることを知っている。

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動 地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

イザヤ書 40章31節

2022年度基本聖句 主に望みをおく人は新たな力を得ごのように翼を張って上る。 走っても弱ることはなく、歩いても疲れない。

熊本YMCAの使命